

入繪
 智
 慧
 の
 環

四編下

詞の巻

福岡第一師範學校
 (學校圖書)

| | | |
|----------|----------|---|
| 登錄 番號 | 第 | 號 |
| | 總記 | 門 |
| | 叢書全集 | 部 |
| 日本 書 | 叢書 | 部 |
| | II | 次 |
| 全 | 冊 | 第 |
| 分 類 | 第 (81.2) | 號 |

T1A1

10
 F 93e

29

U.

子
五
ノ
口

四編下
詞ノ卷

函書 和函書 迦



a 1 3 8 0 3 2 1 1 3 1 a

福岡教育大学蔵書



音のくさ

複音の ^{くさ}かきあはるまけと、まの ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ
 木 ^{くさ}木の ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ
 カサタナハマヤラワ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ
 の ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ
 木 ^{くさ}木の ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ
 フムルの ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ
 タの ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ
 み ^{くさ}木の ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ ^{くさ}くさ

目録

和函書 迦

アイウエオ あいうえお
ヤレユルヨ やいおるよ
ロキ子エヲ わるるゑを
とかきなきをまひ

おんどのトおどの とよ言えりあま
あまよま 言のへよふて

おんどのトおどの とよ言えりあま

おんどのトおどの とよ言えりあま
といふ、それよりこのおんをを言えりあまとあま
やうよみおれおんおんおんおんおんおんおんおん
やまの、おんおんをいふ、おんおんおんおんおん
おんおん、おんおん

- 一 おんおん、おんおんおんおん
- 二 おんおん、おんおんおんおん

三 おのづからある なたらまことば

一

おのまゝ なたらまことば (他動詞ともいふ)

おのまゝ こそ おのまゝのまゝ こそ どうもかまひと

いふ こそあり

ものまゝ なたらまことば こそ うつ 罰をうらむ なたらま

ゝを ひとやまの なたらまの ひとやまを あらまゝ

をうらむ なたらまを いふ こそは あり

太郎が いぬ をうつ

天と悪人を罰を

極とが ぬき

をうらむ なたらまを うらむ なたらまを うらむ なたらまを

の、おのづから ひとやまの なたらまを、なたらまを いふ こそは あり、
この なたらまを、太郎の なたらまをといふ、大の なたらまを
悪人よ、ねこの なたらまを、ねこの なたらまを、あり
この なたらまの なたらまをばと、あたふ なたらまの なたらま
第四格 をうらむ

二

おのまゝ なたらまことば (所動詞ともいふ)

おのまゝ なたらまことば こそ うらむ なたらまを あらまゝ
おのづから なたらまを、ひとやまの、あたふ ひとやまの

あふとく せうとく せりふ せんば あり、この ありと こと なる
ものなる なるきこば の うら あり

たぐいど いぬが 太郎 ようちうく 悪人と 天と なるせる

てふぐ かせよ ちうさうく あどい と 危と、ひや やもの

かゝの ひや やものよ ちの せうとく あり

この なるもの なるきこば と かなん なる なる 第二格
を うく

三

おのづから なる なるきこば (自動詞) もりふ

おのづから なる なるきこば もりふ なるきこば なるきこば なるきこば

なるきこば

おのづから なる なるきこば なるきこば なるきこば なるきこば

ひや やもの、ひや やものよ なるきこば なるきこば なるきこば

たぐいど ひや ねる ありが なるきこば なるきこば なるきこば

ねる なるきこば も なるきこば やもの の ひや なるきこば なるきこば

きを りふ なるきこば なるきこば の なるきこば なるきこば なるきこば

なるきこば なるきこば の なるきこば なるきこば なるきこば なるきこば

なるきこば なるきこば なるきこば なるきこば なるきこば なるきこば

なるきこば なるきこば なるきこば なるきこば なるきこば なるきこば

なるきこば

望より夫の日をばしをたきせりよとまとも、おのち
かゝるをあることとみゆ

望より夫の日をばしをたきせりよとまとも、おのち
過去とあるは、望よりをたきせりよとまとも、おのち
望より過去とあるは、望よりをたきせりよとまとも、おのち

第一の過去

よみま
よみま
よみま

第二の過去

よみま
よみま
よみま

おのちの望よりとまとも、おのちの前後り、おのちの
よみま、おのちの望よりとまとも、おのちの前後り、おのちの

おのちの望よりとまとも、おのちの前後り、おのちの
よみま、おのちの望よりとまとも、おのちの前後り、おのちの

第一の未来

よみま
よみま
よみま

第二の未来

よみま
よみま
よみま

○つらきはのこゝろ

てははそとほげあはちとちかぢく
 おろをいふ、むねとをなす、たひのこは、まぢを
 かのまははれぞやかきてとどとちよあぢうらん
 茶とのたひを、おしめて下をはといひし中のあうとを
 ちよのうちよ、はれぞのやかこそをかうとちはと
 ちよけしはれよ、あうき
 おちよとがゆとせへとよりかぢくをのたひと
 とあうけてむとどとちのたひとつあきとあうけ

つらきのたひとをなすまはのたひとあうとあうと
 ちよはれぞやかきてとどとちよあぢうらん
 茶とのたひを、おしめて下をはといひし中のあうとを
 ちよのうちよ、はれぞのやかこそをかうとちはと
 ちよけしはれよ、あうき
 おちよとがゆとせへとよりかぢくをのたひと
 とあうけてむとどとちのたひとつあきとあうけ

第一格のあうきとちよのたひとあうとあうと
 ちよはれぞやかきてとどとちよあぢうらん
 茶とのたひを、おしめて下をはといひし中のあうとを
 ちよのうちよ、はれぞのやかこそをかうとちはと
 ちよけしはれよ、あうき
 おちよとがゆとせへとよりかぢくをのたひと
 とあうけてむとどとちのたひとつあきとあうけ

あり
 る由也。二、寛格、百連と、かぶる、たすまの、そは、何れも
 を、なし、たひ、文の、う、二、第一格、法と、いふ、か、そを
 た、ち、が、た、ま、の、そ、を、寛格と、文の、あ、の、一
 何、ま、の、あり
 だ、の、ま、を、む、ま、び、と、む、た、ま、ま、と、才、格、二、つ、連、ぶ
 は、も、ぞ、の、や、か、こ、を、二、つ、連、て、む、り、本、ひ、二、才、三、格、の、二
 才、四、格、の、を、二、つ、連、て、む、り、は、も、ぞ、の、や、か、こ、を、二、つ、連、て、か、り
 せ、二、つ、連、て、む、り、か、を、二、つ、連、て、む、り、そ、や、か、こ、を、二、つ、連、て
 か、を、二、つ、連、て、む、り

か、と、と、た、ま、の、あ、よ、う、あ、よ、う、あ、よ、う、い、か、で、う、あ、よ、の
 ぞ、く、う、た、ま、の、こ、ろ、あ、る、そ、は、よ、う、か、の、そ、あ、り
 た、ま、あ、よ、と、あ、よ、い、か、の、ぞ、く、か、せ、つ、け、た、よ、う
 こ、と、あ、よ、と、そ、た、か、を、た、ま、の、そ、あ、り
 ま、ま、う、た、ま、の、そ、は、ま、ま、う、た、ま、の、何、が、二、つ、連、
 だ、か、と、つ、た、と、か、これ、二、つ、連、て、む、ま、び、の、ま、ま、ま、
 二、つ、連、て、か、を、二、つ、連、て、む、り
 つ、の、こ、は、つ、ま、二、つ、連、て、む、り、そ、は、二、つ、連、て、か、を、
 け、ひ、だ、し、て、む、ま、び、の、ま、ま、ま、ま、二、つ、連、て、か、を、
 つ、ま、ま、と、あ、い、し、た、ま、を、い、つ、つ、あ、る、と、い、ふ、ま、ま、と

うんちやま ありふることありまじく 文章の正を
以てしあるなり のうんちやま 又つて正の 有りたる
由をいふとつていふなり 又つて正の 由をいふと
うんちやま 又つて正の 由をいふと
よも あり あり

四つねいひつて不定法とよみ

つひつてこのこといふ、ひつてのたをまじくを文章の
正をいふとありふることありまじく 文章の正を
いふとありふることありまじく 文章の正を
いふとありふることありまじく 文章の正を

うんちやま ありふることありまじく 文章の正を
以てしあるなり のうんちやま 又つて正の 有りたる
由をいふとつていふなり 又つて正の 由をいふと
うんちやま 又つて正の 由をいふと
よも あり あり

四だんの ちんちんこぼ

こまのひたよりて、まゝまゝカキクケまゝをサレ
ス。あどと第一のこまより、第二のこま、第三の四だん
まゝかゝるこぼあり

一だんの ちんちんこぼ

こまをひた、こまのこぼは、このこまをひたさず、
かゝるこまを、ひたすこまを、まゝル
とあるこぼあり

中二だんの ちんちんこぼ

こまをククす、ちんちんこぼと、中二だんのこまを
かゝり、すゝそのまゝルレともあり、まゝあり

下二だんの ちんちんこぼ

こまをククす、こまを、中二だんのこまのこま
まゝかゝり、すゝそのまゝルレともあり、まゝあり
下二だんの表をみて、まゝべし

片假名

| | 下に二のんは | 中二のんは |
|--|----------------------------------|----------------------------------|
| うえ かき まき 木の かね やせ うえ | かき まき 木の かね やせ うえ | かき まき 木の かね やせ うえ |
| よんぬトせでど | よんぬトせでど | よんぬトせでど |
| まてて | まてて | まてて |
| しきりるるる | しきりるるる | しきりるるる |
| うか まか あむ うぬ やう うく | うか まか あむ うぬ やう うく | うか まか あむ うぬ やう うく |
| えじもと | えじもと | えじもと |
| かき まき あむ うぬ やう うく | かき まき あむ うぬ やう うく | かき まき あむ うぬ やう うく |
| まあまかやとよ | まあまかやとよ | まあまかやとよ |
| かき まき あむ うぬ やう うく | かき まき あむ うぬ やう うく | かき まき あむ うぬ やう うく |
| どどど | どどど | どどど |

オの
ウの
エの
カの
マの
アの
ウの
ノの
ハの
フの
ヘの
ホの
ヘの
フの
ヘの
ホの

オの
ウの
エの
カの
マの
アの
ウの
ノの
ハの
フの
ヘの
ホの

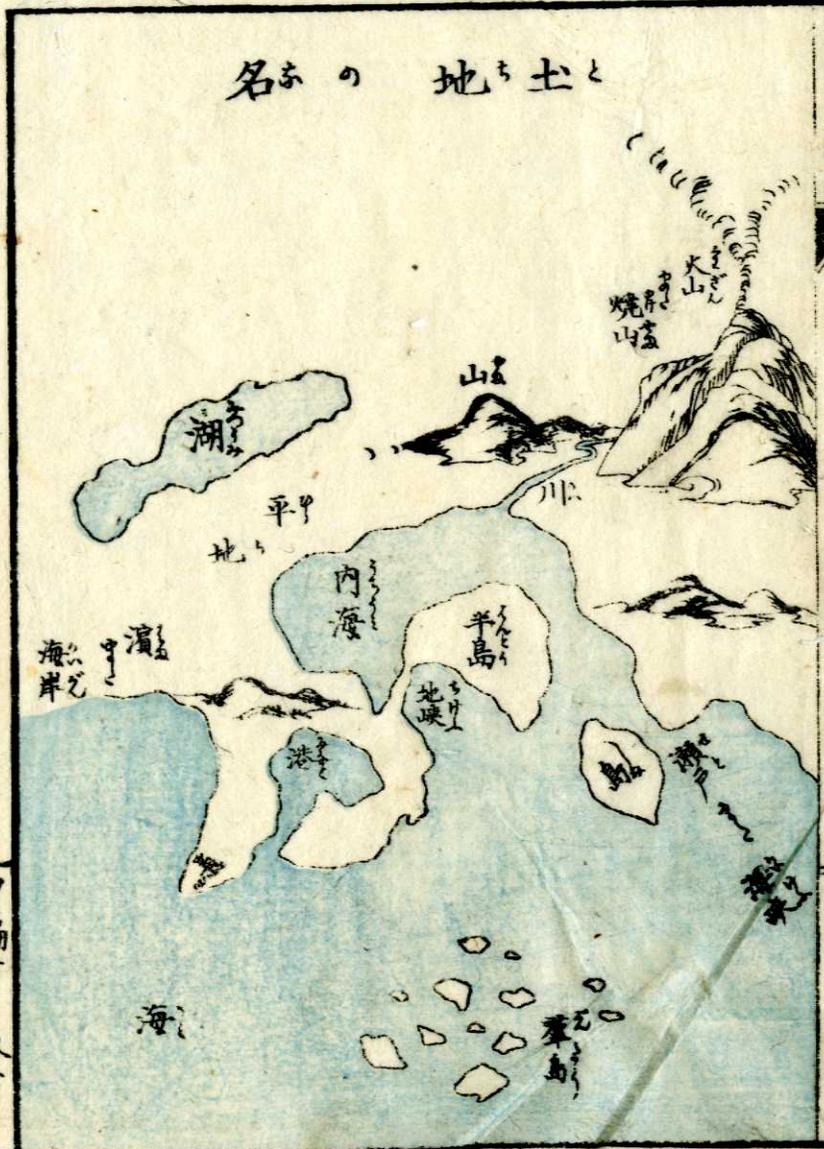
オの
ウの
エの
カの
マの
アの
ウの
ノの
ハの
フの
ヘの
ホの

| | 下に二のんは | 中二のんは |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| あみひまきい つま あま あま あま | あみひまきい つま あま あま あま | あみひまきい つま あま あま あま |
| んぬトせでど | んぬトせでど | んぬトせでど |
| まてて | まてて | まてて |
| しきりるるる | しきりるるる | しきりるるる |
| うか まか あむ うぬ やう うく | うか まか あむ うぬ やう うく | うか まか あむ うぬ やう うく |
| えじもと | えじもと | えじもと |
| かき まか あむ うぬ やう うく | かき まか あむ うぬ やう うく | かき まか あむ うぬ やう うく |
| まあまかやとよ | まあまかやとよ | まあまかやとよ |
| かき まか あむ うぬ やう うく | かき まか あむ うぬ やう うく | かき まか あむ うぬ やう うく |
| どどど | どどど | どどど |

共
正格の
表

オの
ウの
エの
カの
マの
アの
ウの
ノの
ハの
フの
ヘの
ホの
オの
ウの
エの
カの
マの
アの
ウの
ノの
ハの
フの
ヘの
ホの
オの
ウの
エの
カの
マの
アの
ウの
ノの
ハの
フの
ヘの
ホの

名の地と土と



四編下終

明治五年壬申五月刊行
同六年五月再版

古川氏藏板



賣弘所

岡田屋

嘉七